

最明寺史跡公園

Saimyoji Historic site park

花マップ

伊豆山の別当浄蓮上人源延は、信州善光寺の一光三尊善光寺如来の尊像を模写して越前の仏師海繩にたのんで金銅の仏像を鑄造して承久三年(1221)松田の郷麻子山に安置し、寺を西明寺としました。源延は源頼朝の重臣加藤左衛門尉実長斎といひ、出家して、天台の澄憲の門に学び、のちに伊豆山の別当となって活躍しました。その後、応仁・文明の戦乱のため最明寺は次第に衰え文明年間、寺を金子の郷に移しました。麻子山西明寺の田地は、毎年四月十日の施餓鬼会と善光寺如来の戸ごとの巡行供養が行われてきました。 昭和63年10月吉日(松田町教育委員会)



● 護摩堂跡の小山には、めずらしい桜があります



菊桃(キクモモ) 東錦(アズマニシキ) 楊貴妃(ヨウキヒ) 手弱女(タオヤメ) 気多白菊桜(ケタノシロキクザクラ)